

**株式会社カーチスホールディングス (東証2部 7602)**  
**2020年3月期 決算短信説明資料**

**2020年5月13日**



ご注意: 当資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

# 目 次

## 【1】 2020年3月期 当期連結決算の状況

- ① 国内の新車/中古車市場の背景
- ② 前年同期業績比較(連結)
- ③ 業績ハイライト(各指標ハイライト)
- ④ 損益計算書
- ⑤ 貸借対照表
- ⑥ キャッシュ・フロー計算書

## 【2】 2020年3月期 トピックス

トピックス①～③

## 【3】 2021年3月期の業績見通し

- ① 業績計画について
- ② 業績計画の達成に向けて



# 【1】 2020年3月期 当期連結決算の状況



# 【1】2020年3月期 当期連結決算の状況

## ①国内の新車/中古車市場の背景

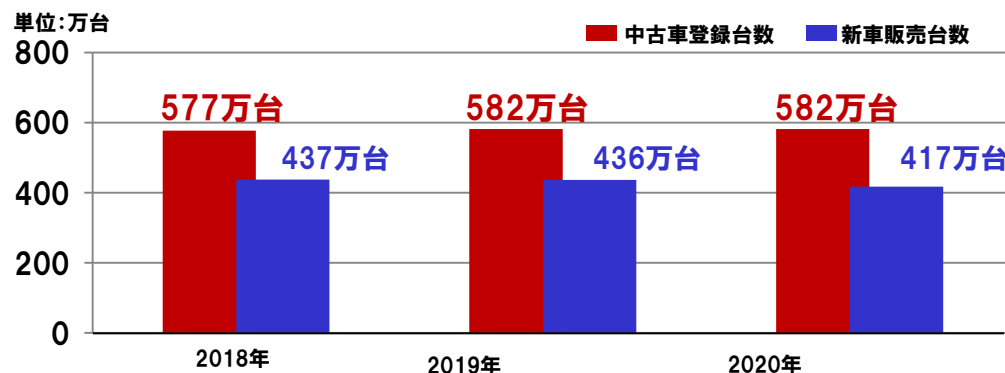
中古車登録台数(2019年4月～2020年3月)

**5,817,672台**

※ 前年同期5,818,008台 (前年同期比:▲0.01%)

中古車登録台数の出典は日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会より

■国内の新車/中古車市場動向



### 補足説明

2019年4月～2020年3月の期間において国内の自動車販売業界では、新車の販売台数（軽自動車含む）は、417万台（前年同期比4.4%減）。中古車市場での、中古車登録台数（軽自動車含む）は582万台（前年同期比0.01%減）となりました。



# 【1】2020年3月期 当期連結決算の状況

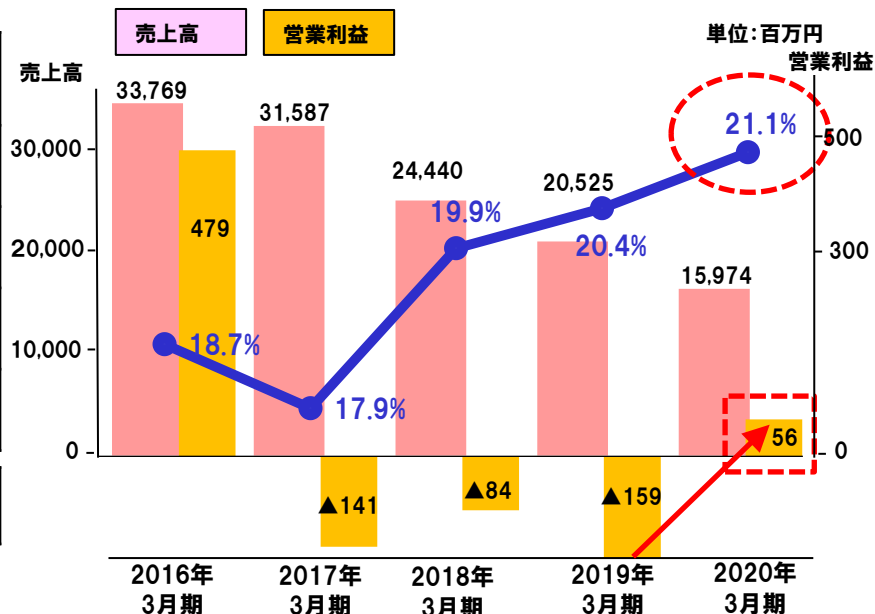
## ②前年同期業績比較(連結)

### ■連結累計期間営業利益推移

単位:百万円

	2020年3月期	2019年3月期	増減
売上高	15,974	20,525	▲4,551
営業利益	56	▲159	+215
経常利益	69	▲137	+206
親会社株主に帰属する当期純利益	156	▲370	+526
売上総利益率	21.1%	20.4%	+0.7%

### ■連結累計期間営業利益推移



### 補足説明

当期においては、期初より『顧客ファースト』を掲げ、良質車両の買取、販売に特化し、売上高総利益率は21.1%と前年比0.7%改善しました。

消費税増税、新型コロナウイルスの影響などにより販売台数が想定より減少したものの、広告費などの見直しによる費用対効果を重視した経費削減等により、営業利益が前年同期比215百万円増加し、営業利益が4期振りのプラスとなりました。



# 【1】2020年3月期 当期連結決算の状況

## ③業績ハイライト(各指標ハイライト)

**売上高総利益率 21.1%**

※ 前年同期 20.4% (前年同期比:0.7%改善)

**自己資本比率 78.3%**

※ 前年同期 72.5% (前年同期比:5.8%改善)

**期末キャッシュ保有残高 2,841百万円**

※ 前年同期 2,146百万円(前年同期比:695百万円増加)

### 補足説明

売上構造改革等によって売上高総利益率が向上し、営業利益が改善。第三者割当てによる自己株式の処分などによる自己資本の増加。保有する遊休地などの固定資産売却。結果、期末キャッシュ保有残高は前年同期比695百万円の増加となりました。



# 【1】 2020年3月期 当期連結決算の状況

## ④ 損益計算書

(単位:百万円)

	2020年3月期	2019年3月期	前期比
売上高	15,974	20,525	77.8%
売上原価	12,610	16,341	77.2%
売上総利益	3,363	4,184	80.4%
販売管理費	3,307	4,343	76.2%
営業利益	56	▲159	—
経常利益	69	▲137	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	156	▲370	—

### 補足説明

- **販売管理費**: 広告費、事務費など経費見直しを推し進めた結果、前年同期比1,036百万円削減となりました。
- **親会社株主に帰属する当期純利益**: 災害による受取保険金、店舗閉鎖損失引当金戻入、不動産売却など152百万円を特別利益として計上し、前年同期比526百万円増加となりました。



# 【1】 2020年3月期 当期連結決算の状況

## ⑤貸借対照表

(単位:百万円)

	2020年3月期末	2019年3月期末	前期末比
流動資産	5,175	5,647	91.6%
固定資産	1,774	1,478	120.0%
総資産	6,950	7,126	97.5%
流動負債	1,086	1,408	77.1%
固定負債	264	393	67.2%
純資産	5,598	5,324	105.2%
負債・純資産合計	6,950	7,126	97.5%

### 補足説明

(資産)

当連結会計年度末の資産合計は、6,950百万円となり、前連結会計年度末に比べ176百万円減少いたしました。主な要因は、商品の減少763百万円、前渡金の減少201百万円などによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債合計は、1,351百万円となり、前連結会計年度末に比べ451百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少100百万円、長期借入金の減少100百万円などによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は、5,598百万円となり、前連結会計年度に比べ274百万円増加いたしました。主な要因は第三者割当てによる自己株式の処分を行ったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、78.3%(前連結会計年度末は72.5%)となりました。





# 【1】2020年3月期 当期連結決算の状況

## ⑥ キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2020年3月期	2019年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	762	▲4
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲88	▲38
財務活動によるキャッシュ・フロー	19	▲190
現金及び現金同等物の期末残高	2,841	2,146

### 補足説明

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ695百万円増加し、残高は2,841百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前当期純利益は213百万円となり、たな卸資産の減少762百万円、前渡金の減少201百万円、売上債権の減少183百万円等の増加要因と、未払金の減少218百万円、仕入債務の減少100百万円等の減少要因により、762百万円の収入となりました(前期は4百万円の支出)。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の売却による収入174百万円、敷金及び保証金の回収による収入31百万円の増加要因と、無形固定資産の取得による支出236百万円等の減少要因により、88百万円の支出となりました(前期は38百万円の支出)。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

自己株式の処分による収入199百万円の増加要因と、長期借入金の返済による支出100百万円、配当金の支払額78百万円等の減少要因により、19百万円の収入となりました(前期は190百万円の支出)。



## 【2】 2020年3月期 トピックス

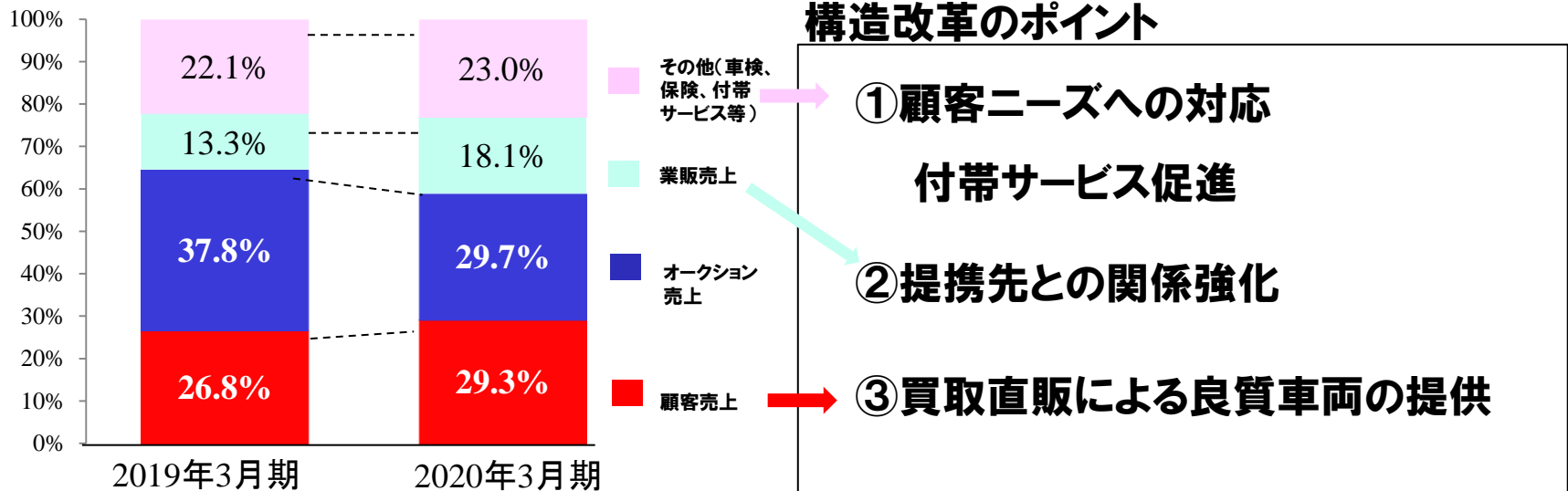


**Carchs Holdings Co.,Ltd**

## 【2】 2020年3月期トピックス

### ①買取直販の推進

買取直販を推進し、売上構造改革を実現。売上総利益率0.7%改善



#### 補足説明

収益率の高い、顧客売上に注力し、買取直販の推進ならびに付帯サービスの促進により、高収益化。消費増税などの影響で顧客販売台数は減少したものの、提携先との関係を更に強化し、業販売上高が前年比5.7%の増加。



# 【2】2020年3月期 トピックス

## ②新たな提携事業

### 今期新たに始めたサービス

2020年2月開始

カーチス×DMM



2020年2月開始

カーチス×カーベル

「カーベル」のFC コレCARラとの  
在庫連携



2019年9月開始

カーチス×REVISE

保証サービスを刷新！



2019年10月開始

カーチス×クリーンデバイステクノロジー

新車並みの洗浄「Dr.BAZOOKA! 洗浄」  
エンド向け車選びサイト「みんなのクルマ選び」



良質な車輛・選ぶ楽しさ・乗る楽しさ

高級車！輸入車！RV車！  
カーチスの“グッドレンタカー”



カーチス×オートバックスセブン

手軽に気軽に。

「カーチス カーリースまるのり」開始



カーチス×カーベル

「カーチス&カーベル倶楽部」発足

BtoB取引の拡大



Carchs Holdings Co.,Ltd

## 【2】 2020年3月期 トピックス

### ③海外事業展開

#### 輸出国内大手No1企業と業務提携

中古車輸出国内大手No.1のリーディングカンパニーであるビィ・フォード社と提携。アフリカにおける自動車分野トップの知名度を有する同社の拠点ビィ・フォードタンザニア内にPicknBuy24サポートデスクを開設。知名度向上と共に安心して日本の中古車を購入できるアフターサポート体制を構築。諸外国や中国の中古車市場においても現地サービスを展開する上での基盤として期待。

#### 新華錦集団グループとの合併会社「青島新馳汽車有限公司」設立

前期末より進めておりました、合併会社の会社運営に至る一連の手続きは完了いたしました。

2019年12月 合併契約書締結

2020年 1月 設立手続き完了

2020年 3月 出資手続き完了

#### 補足説明

海外輸出台数の減少、期末においては新型コロナウイルスの影響を受け、想定売上には及ばなかったものの、今後の海外事業展開の基盤を構築しました。



## 【3】 2021年3月期の業績見通し



## 【3】 2021年3月期の業績見通し

### ①業績計画について

**売上高 17,500百万円**

※ 前年同期 15,974百万円（109.5％）

**営業利益 180百万円**

※ 前年同期 56百万円（前年同期比:124百万円増加）

**経常利益 165百万円**

※ 前年同期 69百万円（前年同期比:96百万円増加）

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による業績への影響は現時点では見通すことが困難なため、今後、修正の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

### 補足説明

国内においては、引き続き買取直販推進、高付加価値サービスの提供、提携先との関係強化に加え、新規出店、M&Aを実施。

海外においては、大手輸出企業との関係強化などを通じた各諸国への輸出台数拡大ならびに中国合弁会社との事業推進などの営業活動により、売上高17,500百万円、営業利益180百万円を目指します。



# 【3】2021年3月期の業績見通し

## ②業績計画の達成に向けて

### 計画達成の為の施策

今期は以下に注力してまいります。

#### I. 国内事業

- ①顧客管理の徹底：メンテナンス、車検、保険、買い替えを促進。
- ②商品開発：顧客ニーズへ対応しうる新サービスの開発ならびに開拓。
- ③業務提携：NET販売強化、代理店開拓

#### II. 新期出店/M&Aによる店舗拡大

#### III. 海外事業拡大

- ①合併会社(青島新馳汽車有限公司)の発展
- ②大手海外輸出業者との業務提携





# 【3】2021年3月期の業績見通し

## ③業績計画の達成に向けて

### 中国合弁会社 青島新馳汽車有限公司の取組み

今期注力

- 1. 中古車輸出事業** : 中国国内の中古車を、合併企業を経由して、中央アジア・東南アジア・西アフリカエリアへ輸出販売拡大
- 2. 物流事業** : 中国の国策である「一帯一路」を活用し、物流運送事業を行う。  
\*「中継ぎ貿易」 合併企業は、日本(窓口:アガスタ)から中国を経由する 諸外国への新たな物流ルートとして「一帯一路」を活用し、第三国へ輸出輸送手配を行う。



### 次のステップとして下記計画の準備を行う

- 3. ロジステック事業** : 合併企業は、日本からの中古車輸入車両を保管・管理する保税倉庫を活用。輸出先である諸外国の顧客へ素早く車両を届ける。
- 4. 中古車整備・検査事業** : ①輸出に伴う一次整備事業。輸出販売先の追加整備などにも対応する。  
[ 部品取付け販売 ]  
②中国国内の車両の輸出に伴う、「検査証印」事業。



GLOBAL EXPORTER



Carchs Holdings Co.,Ltd

# 将来の見通しについて

---

**本資料は、投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。**

**本資料には、当社グループの計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が掲載されており、これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、リスク及び不確実な要素が含まれています。**

**当社の業績は、経済情勢、事業環境、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。**

**当社は、本資料の利用、またはこれに付随して生じたいかなる損害についても、一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。**